

高等学校における授業改善に向けた取組について

1 背景

生徒の学び「令和の日本型学校教育」

- ・ 個別最適な学び
 - ・ 協働的な学び
- 一体的な実現

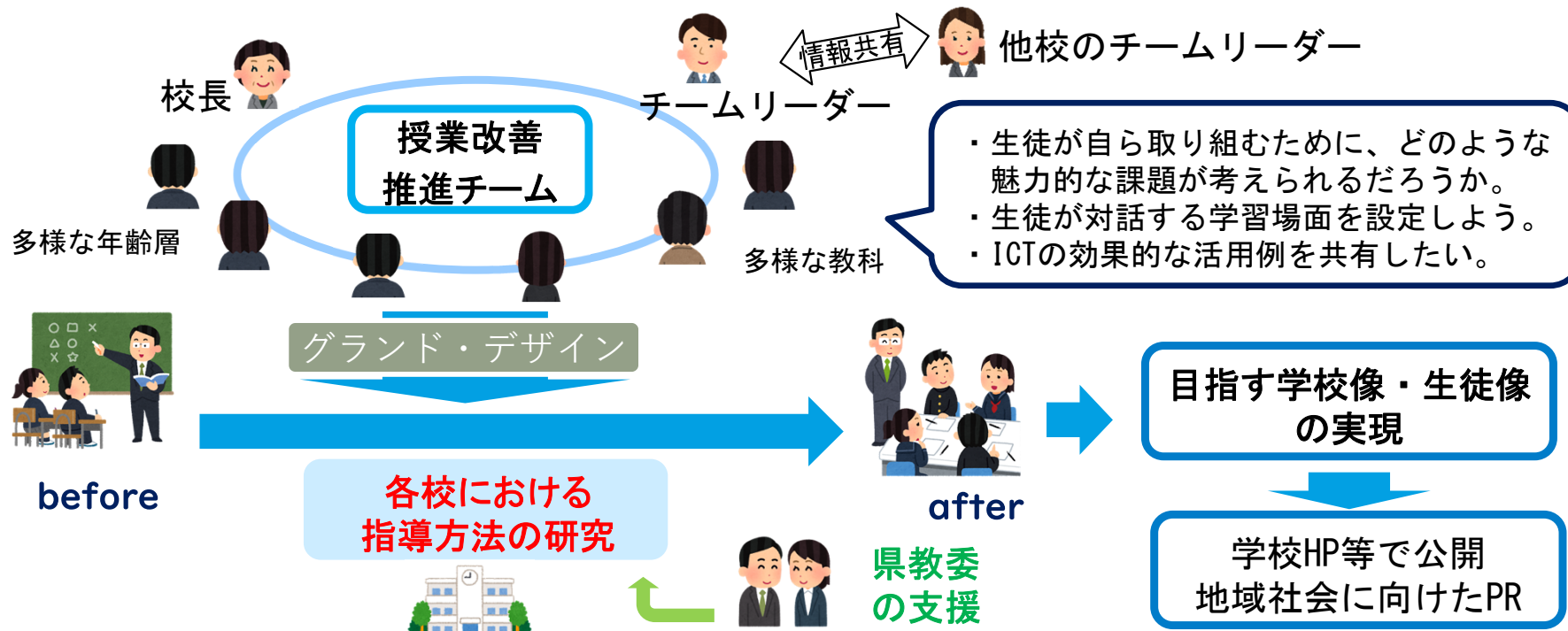
「主体的・対話的で深い学び」の
実現に向けた授業改善

教師の学び「新たな教師の学びの姿」

- ・ 変化を前向きに受け止め、探究心を持って自律的に学ぶ。
- ・ 教職生活を通じて継続的に学ぶ。
- ・ 自らの強みを伸ばす個別最適な学びを行う。
- ・ 協働的な学びを通じて成長する。
- ・ 子供の学びと教師自身の学びをリンクさせる。



2 授業改善推進プロジェクト

- 令和5年度より全県立高等学校等で実施
- 自校の教育目標を達成するための授業改善を組織的に実施
- 各校に授業改善推進チームを設置し、授業改善に向けて学校が自走することを目指す



高等学校における授業改善に向けた取組について

3 各校における指導方法の研究

取組例	概要	工夫点
佐和高校	生徒も授業改善の協議に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善へ向けて生徒の視点を共有 ・ わかりやすい授業、改善してほしい授業、授業の工夫点等（例）グループワークがあると互いに教え合い、理解が進む ・ 生徒の意見を参考に研究協議を実施 ・ 協議内容はドキュメントに入力して共有 ・ 相互授業参観後は、フォームやスプレッドシートでフィードバック
伊奈高校	教員間の時間と教科をこえた協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科をこえて学年の2クラスの担任副担任でチーム編成 → 授業を撮影してドライブに保存、都合のよいタイミングで視聴 ・ オンライン上または対面で研究協議を実施 ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けた授業の視点を参観のポイントとすることで、教科をこえて参観・省察が可能

4 成果と今後の展望

